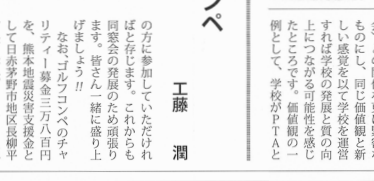

茅野高 同窓会報

第 60 号
平成29年２月吉日
発　行
茅野高等学校同窓会
発行人　原田年子
編集人　吉田貞雄
印　刷　(株)サラト

ご挨拶

同窓会会長　原田　年子

同窓会の皆様、益々御清栄の事と、お喜び申し上げます。昨年は御柱年で、一年を通しお忙しい日々を送られた方も多かった事と思います。母校でも、石楠会館を地域の皆さんに利用していただき、非常に喜んでいただけました。全員が茅野高のハッピを着、生徒がおもてなしをして、ＴＶのインタビューを受けたり、写真を撮られたりでにぎわい、地域に貢献できた事はほんとうに喜ばしい限りで、次回へと繋げていかれるよう願っております。これから出ると思われる再編問題が大きな課題になると思われますが、茅野市唯一の公立高校を、何としても存続させなくてはならない思いでおります。このため、今後は地域の同窓生の力強い協力が必要とされます。現在の学校での活動にも御理解いただき、御支援をよろしくお願い致します。

茅野市では、昨年から台湾の新興高級中学との交流が始まり、新興の生徒が来校し、姉妹校提携もされました。昨年十月校長先生と共に、高雄市視察に同行しました。新年度は本校より新興高級中学へ出向き海外交流の第一歩をふみ出し、海外交流の重要性を勉強してほしいと思っています。この交流を大切にし、母校も前向きに、大きな力をつけ、特色ある学校にする時がきたのではないでしょうか。

また、母校からも全国ネットで活躍されている方が多く出られていますが、前会報でもお知らせしました、工藤潤プロも地域で頑張って、長野オープンで二連覇されました。ＯＢの交流を考え、十一月三日に第一回目のゴルフコンペを行い、多くの方に参加していただきました。年代を越え有意義な楽しい一日となりました。

これからの母校発展のために、地域の多くの方との交流を持ち、地域に貢献できる場を皆様と共に作っていかなくてはと思っております。これからも一致団結し母校をもりあげていきたいと考えております。

これからは今まで以上に、同窓生の皆様の御指導、御協力をお願いしなくてはなりません。母校と共に同窓会発展のために、どうぞよろしくお願い申し上げます。

繋がり

学校長　大森　俊司

今年は4月の山出し、5月の里曳き、その後に各地区の小宮祭と、半年以上に渡り御柱ムードに包まれました。本校生徒もいろいろな場面で活躍していました。御柱は、木遣り衆・斧とり衆・曳子・梃子衆・元綱衆・追掛衆などそれぞれの役割があり、それらがきちんと果たされて、はじめて10数トンある大きな柱をスムーズに曳行することができます。学校も同じであり、皆が持つそれぞれの力を合わせて生徒を育てる場所だと考えています。

昨年12月に文部科学省からキャリア教育優良校として表彰されました。評価していただいた内容は2つあります。1つは、地域を舞台にし、地域の協力を得て行われる体験学習です。生徒はこの体験学習を通して「新しい自分」を発見したり、「地域の課題」を考える機会を得ます。2つ目は、生徒会が中心となり、保護者や地域の方の協力を得て続いている岩手県立大槌高校との復興支援に向けた取り組みです。この取り組みは東日本大震災後２０１１年より継続して行って参りました。文化祭でのチャリティマーケットは、ＰＴＡ・同窓会や地域の方々の協力を得て続けることができています。そこでの収益を義援金として、時には品物に変えてお届けしています。毎年生徒たちは被災地に赴き、復興の現状を目のあたりにして参りました。生徒たちはこの交流で人と人との繋がりを学び、「自己を振り返る」機会にもなっており、貴重な経験となっています。そして今回このような取り組みを評価していただいての表彰となりました。このように地域との繋がり・大槌高校との繋がりの中で、生徒は成長しています。

また、本年1月に台湾高雄市にある新興高級中学と姉妹校提携を結びました。高雄市は人口約２７０万の台湾第2の近代的な都市です。グローバル化が進む中、生徒たちにとって良き交流の場として考えていきたいと思っています。昨年10月30日から3泊4日の日程で、茅野市の副市長さん、学校教育課の方々、教育関係者、市内の中学生、同窓会の方々と新興高級中学を視察して参りました。台湾の方々は、我々を非常に温かく迎えてくれました。話を伺うと、１８９５年から１９４５年までの日本統治時代に鉄道をはじめとする交通網の整備や大規模水利事業を行ってくれたのが日本人だったとのことでした。特に台湾南部ではダムや農業用水路を整備し農業の飛躍的進歩に繋がったとのことでした。日本人による過去の偉業が今の台湾の方々との繋がりとなっていることを深く感じた視察でありました。

高雄市立新興高級中學
KAOHSIUNG MUNICIPAL HSIN HSING SENIOR HIGH SCHOOL

同窓会が茅野市台湾学校交流事業に同行

同窓会顧問　篠原　啓郎

私たちを取り巻く社会情勢がグローバル化する中で、成長期の学生時代に海外生活を通じて経済や人との交流など海外事情を体験しておくことが必要な時代になっています。

このような社会情勢を捉え茅野市では中学校台湾交流事業として台湾の國昌中学・五福中学・光華中学・新興高級中学と市内4中学が姉妹校提携を結び、双方が学校を正式訪問し交流を行っています。この事業は観光渡航とは異なった雰囲気の中で、適度な緊張感を抱きながら海外の生活を仲間とともに体験できる希少な機会です。

又、茅野校が新興高級中学（中高一貫校）と姉妹校提携を結んでいることから同窓会では高校生にとっても有意義な交流になると位置付け、平成28年度の交流事業に茅野高校大森校長、同窓会原田会長、同窓会顧問篠原が同行いたしました。

新興高級中学では校長と教職員の関係・学校とＰＴＡの関係や学生の雰囲気に触れてきました。特に学校とＰＴＡの関係は、双方が協力して、人が関係しあう交流の場を意思疎通の場として生かしていました。学校がＰＴＡ（父母と教師の会）との関係を更に緊密なものにし、同じ価値観と新しい感覚を以て学校を運営すれば学校の発展と質の向上につながる可能性を感じたところです。価値観の一例として、学校がＰＴＡと共同で体験の場や交流の場を検討する場合、当事者間の同意のもと、①交流事業に参加する、②高校独自の交流・海外研究部の設立・海外修学旅行、③中学高校連携・高校大学連携などが考えられます。

以上の様に同行の一部を紹介しましたが、高校時代は感性を磨き次の人生を拓く大切な時期です。グローバル化が進む中、行政と学校・ＰＴＡが協力して学生支援の方法を工夫する備えの教育時代が到来していることの再認識が必要です。

一方、学校と地域の接点は「生きる力を求め地域を担わんとここ（茅野校）に学んだ」卒業生で組織する同窓会です。茅野校同窓会では経験豊富な同窓生が対外的な立場から学生の支援と地域の活性化を目的に出身校を支える思い遣りが大切と考え、「茅野校と共に歩み発展させる会」を立ち上げ活動しています。

以上、同行報告に近況を添えさせていただきました。

平成28年11月12日

日本茅野市姉妹校交流訪問團
東部中學校　茅野高校

東京支部だより

支部活動報告

支部運営部幹事
牛山　政春（昭和35年入学）

東京支部会員相互のコミュニケーション促進目的で年5回の行事を開催しております。何れも参加される方の立場を考慮して詳細な実行計画を作成し、役割分担を明確にし実行の60分前には実行最終委員会を行ない、本番に臨んでおります。おかげ様で大過なく毎回参加各位には喜んで頂いております。又、実行委員の方々のご協力に感謝申し上げます。大きな役立ちが目標です。故に多くの方の参加が必要です。是非大勢様の参加を頂き、高齢化人生、健康時の一時を石楠花の縁、同窓生仲間で遊・楽・飲・食・話・笑・歌の七色を楽しんでこそがそれぞれのベスト人生であると考えます。

［終了行事報告］

○H28年2月20日（土）
支部総幹事会
於　新宿三平
9人で活動方針の検討をしました。今回は本部より原田会長の同席を頂きました。

○H28年3月11日（金）
春季ゴルフコンペ
於　八王子武蔵野ＧＣ
10人で実行済。平均グロス１００前後。ベスグロは94の北原元喜氏（37年入学）でした。

○H28年5月18日（水）
ハイク有志会
メンバー13人で浅草散歩ガイド付で実行済。色々と知識が付きました。特記は長野市より曽根聡子さん（写真後列左より3人目）が遠方よりの参加に皆びっくり。

茅野高校東京支部総幹事会様
支部総幹事会

春季ゴルフコンペ

ハイク有志会

浅草ハイク

河西　啓三（昭和35年入学）

ここは浅草雷門。人力車如何の声を耳に十時丁度十三人の健脚者勢揃い、女性三名、長野市からの参加者も嬉しいね。空は青く暑くなりそうだ。雷神様の悪には喝（カツ）と気合いを入れられ、松下幸之助氏寄進の大提灯に頭を撫でられ、風神様に背を押され、台東区観光案内ボランティア二人の組に分かれ仲見世へ。

途中揚げ万頭を購入したため自分一人遅れてしまい、オヤ周りは修学旅行生と外国人ばかり。外国語修得なら浅草寺とは伝法かな。瓦大屋根本堂には秘仏聖観音菩薩が鎮座。首都圏地震が懸念される折、平穏な生活を祈願、隣りで外国人も合掌。日本文化歴史の懐の深さか、右隣りの三社祭りで有名な浅草神社では柏手拝礼で祈願、なる程ね！

数分歩けば空気が変わり、北野武氏の原点はビルの谷間浅草六区。「どぜう」の看板を横目に厨房用品「これは何じゃ」まで揃う軒を連ねる合羽橋商店街は五十年前と変わりない。自分、実は学生の頃この近くの親戚に留守番兼書生で寄宿した家は十数階建のビル建築中、スカイツリー効果の風で変貌中。昔の松竹国際劇場、今は高層ホテルだ。

近くの昼食処助六の宿「貞千代」では粋な女将のお出迎え。門前で記念撮影後昼食場所二階で御亭主登場は、これぞ喋りの芸に爆笑で箸が追い着かない。次は太鼓持ちの座敷芸に感歎、消化が進む食事は鬼平犯科帳に出て来る江戸町衆膳会席料理に納得だ。

日差しが真上だ。鷲（オオトリ）神社の次は、五千円札、アッ失礼「たけくらべ」の苦労の故の文学者樋口一葉記念館へ。皆も耳を澄まし目を凝らしている。この小生の一文も汗顔の至り。吉原見返り柳に日は高いが皆元気、所が小生急用出来で一人三ノ輪へお先に失礼有難う。人生は親を最初の人との出会い、たとえ一期一会でも、次回はあなたと、ぜひ！

【追記】
ハイク次回予告
平成二十九年五月十七日（水）台東区、文京区に関わるＴＶ、雑誌等で超有名な**谷・根・千**コース、ガイド付予定。茅野からも日帰り可です。

OBゴルフコンペ

工藤　潤

私は茅野に帰ってきて、皆さんの協力で、頑張って活動しています。この度、原田会長より、声をかけていただき、私も協力し、ＯＢゴルフコンペを行う事ができました。御柱年にもかかわらず、六組の参加をいただき、有意義な一日を過ごす事ができました。

また親睦会では、年代を越え、たいへん盛りあがりました。これを機に二十九年からは、春と秋にコンペを計画できればと思っております。地域で活躍されている先輩と若い人とが交流でき、また、地域と共に歩むために、私もお力になれるよう頑張ります。

二十九年四月には春のコンペを計画しております。一人でも多くの方に参加していただければと存じます。これからも同窓会の発展のため頑張ります。皆さん一緒に盛り上げましょう!!

なお、ゴルフコンペのチャリティー募金三万八百円を、熊本地震災害支援金として日赤茅野市地区長柳平市長に寄託しましたので、併せてご報告いたします。

チャリティー募金を市長に!!

Gendy（源田泰章）

茅野高校時代は陸上競技100m走で長野県大会優勝、インターハイ（1999年）出場。

2012年にプロ歌手としてソロデビュー、2016年３月にはワーナーミュージック・ジャパンと契約し、７月にメジャー１stアルバム『碧のチカラ』を発表した。

プロデュース・出演した映画『タロット探偵ボブ西田』は2016年２月より公開され、長野県内・東京都内で超満員を記録、「第19回蓼科高原映画祭」招待作品にも抜擢されるなど注目を集め、ロングラン上映となっている。

長野県諏訪地域では、2014年７月より、エルシーブイFM769の生放送番組「いい朝７時」「諏訪湖ラジオランチ」の月曜パーソナリティーを担当中。

重要なお知らせ

～ 会費納入に関する会則等の改正について ～

近年、入学者数の減少等に伴い同窓会運営に係る歳入が逓減しています。

このままの状況で推移しますと、同窓会としての母校に対する部活動のほか教育助成等継続的な支援に支障を及ぼすことが懸念されます。

こうした経緯を踏まえ、平成28年11月28日開催の臨時総会におきまして、右記のとおり同窓会費に関する会則の一部改正が決議されましたのでお知らせします。同窓会員各位におかれましては、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

記

【会則一部改正の内容：第21条関係】

現　行：「会費は、昭和54年度より３年を１期とし、
　　　　１期2,000円を徴収する。」

改正後：「会費は、平成28年度より２年を１期とし、
　　　　１期2,000円を徴収する。」

また、この改正に併せ、毎年全会員に送付しております「同窓会報」を、隔年で送付させていただくこととなりました。

なお、「同窓会報」は、毎年発行いたしますが、送付のない発行年につきましては、「茅野高校同窓会ホームページ」（ホームページアドレスは裏面に記載）でご覧いただきますようお願いいたします。ご不便やお手数をお掛けいたしますが、ご理解ご協力をいただきますよう重ねてお願いいたします。

平成27年度
茅野高等学校同窓会会計決算書

収入総額	5,431,447円
支出総額	1,642,090円
差引総額	3,789,357円

平成28年4月24日　提出
平成28年4月24日　承認

1　収入の部　（単位：円）

科　目	予算現額(A)	決算額(B)	対比(B−A)	摘　要
前年度繰越金	1,169,790	1,169,790	0	前年度より
会　費	1,260,000	1,894,000	634,000	終身会費10,000円の112名 会費2,000円の387名
入　会　金	330,000	336,000	6,000	入会金3,000円の112名
協　力　金	40,000	30,000	△10,000	
繰　入　金	500,000	2,001,292	1,501,292	同窓会基金より
雑　収　入	130,210	365	△129,845	預金利子等
計	3,430,000	5,431,447	2,001,447	

2　支出の部　（単位：円）

科　目	予算額(C)	決算額(D)	対比(C−D)	摘　要
総　会　費	30,000	10,000	20,000	定例総会経費
会　議　費	25,000	37,613	△12,613	幹事会・役員会経費等
支部助成金	70,000	34,370	35,630	支部活動助成等
会報発行費	940,000	0	940,000	会報発行経費（第59号） 次年度支出
通信運搬費	960,000	36,215	923,785	切手代・電話代等 会報（第59号）郵送費： 次年度支出
教育助成費	400,000	598,371	△198,371	教育・生徒会活動助成等 （大会出場激励・石楠祭等）
慶　弔　費	70,000	90,000	△20,000	祝儀・餞別等
卒業生激励費	120,000	143,615	△23,615	記念品・精勤賞 （精勤7人 卒業77人）
事　務　費	550,000	443,626	106,374	人件費・事務室使用料・ 消耗品等
手　数　料	30,000	64,280	△34,280	会費振込手数料・会費 収納業務手数料等
御柱祭費	200,000	180,000	20,000	
予　備　費	35,000	4,000	31,000	
計	3,430,000	1,642,090	1,787,910	